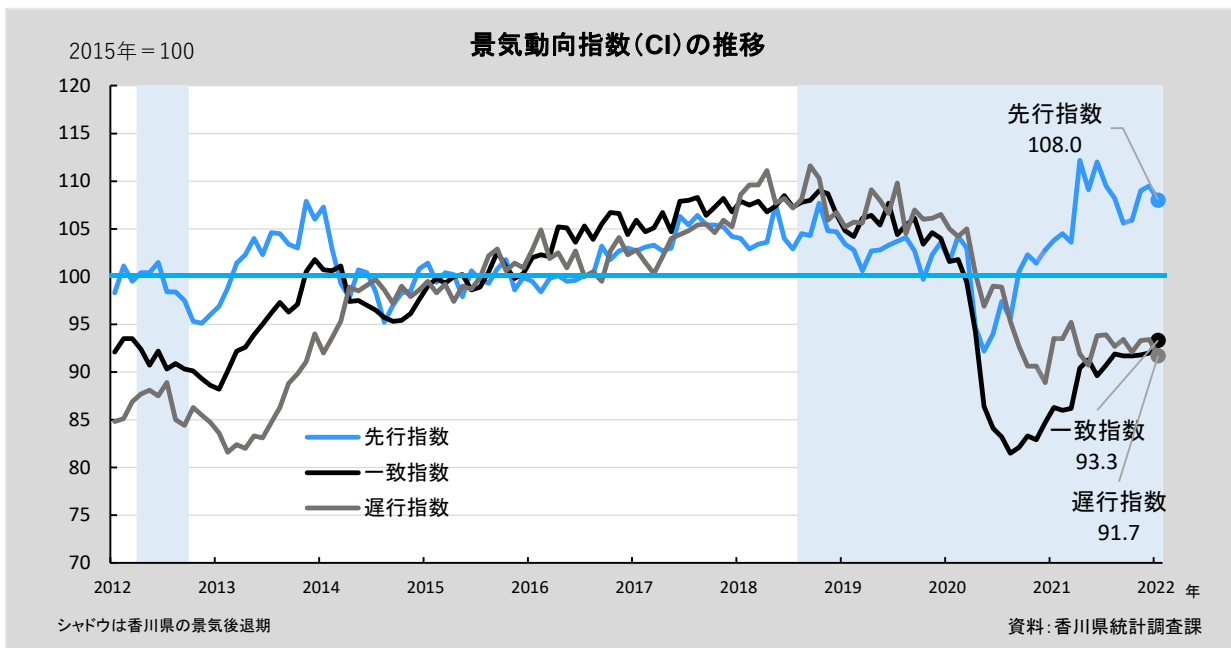


概況	景気は緩やかに持ち直しつつあるが、新型コロナウイルス感染症の影響で一部に弱い動きがみられる。
個人消費	緩やかに持ち直しているが、一部に弱めの動きがみられる。
住宅投資	持ち直しの動きが一服している。
公共投資	減少している。
生産活動	持ち直しの動きが一服している。
雇用情勢	緩やかに持ち直している。
貿易	輸出、輸入ともに増加している。
観光	弱い動きの中、持ち直しの兆しがみられる。

景気動向指数(かがわ CI) 一致指数 3カ月連続上昇



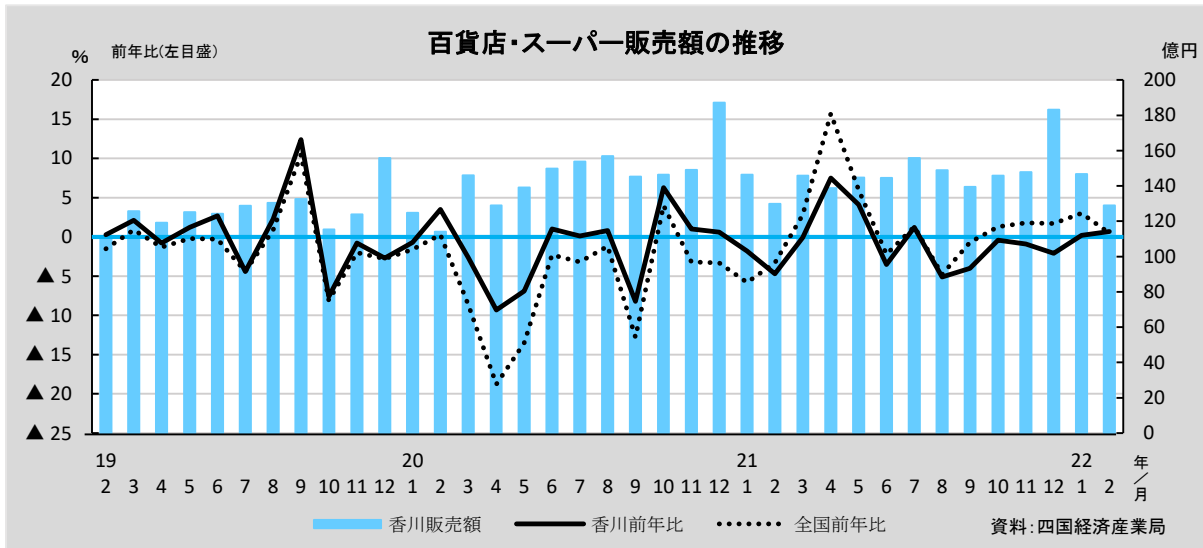
景気の現状をみると、1月のCI一致指数は93.3（前月比+1.3ポイント）と3カ月連続で上昇。CI先行指数は108.0（同▲1.5ポイント）と4カ月ぶりに下降。CI遅行指数は91.7（同▲1.7ポイント）と3カ月ぶりに下降。

景気の現状を示す一致系列の個別指標では、有効求人倍率、百貨店・スーパー既存店販売額、鉱工業出荷指数等が上昇に寄与したことにより、前月から1.3ポイントの上昇となった。

	先行系列	寄与度	一致系列	寄与度	遅行系列	寄与度
採用 景気 指標	1 新規求人数	▲ 0.01	1 雇用保険受給者実人員	0.11	1 常用雇用指数	0.50
	2 乗用車新車登録台数	▲ 0.48	2 有効求人倍率	1.26	2 有効求職者数	▲ 0.95
	3 鉱工業在庫率指数	▲ 0.44	3 所定外労働時間指数	▲ 0.23	3 消費者物価指数	▲ 0.16
	4 生産財生産指数	1.42	4 鉱工業生産指数	▲ 0.20	4 家計消費支出	0.76
	5 新設住宅着工戸数	▲ 0.51	5 鉱工業出荷指数	0.29	5 鉱工業在庫指数	▲ 1.02
	6 金融機関貸出残高	▲ 0.24	6 建築着工床面積	▲ 0.53	6 法人事業税調定額	0.21
	7 消費者態度指数	▲ 1.01	7 百貨店・スーパー既存店販売額	0.50	7 第3次産業活動指数	▲ 0.94

●百貨店・スーパー販売額

2カ月連続増加 ↑

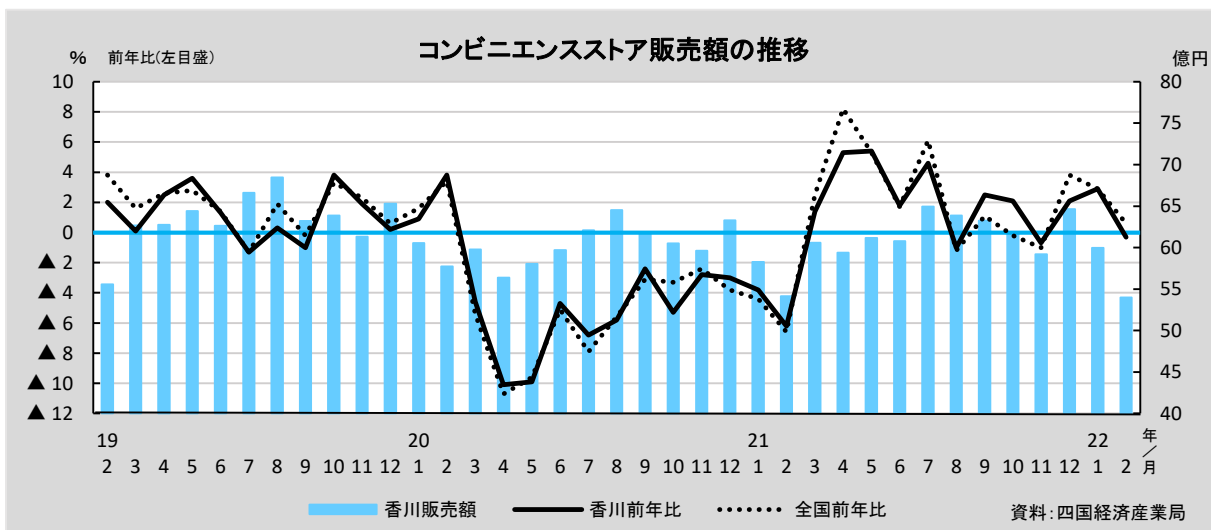


2022/2月	衣料品	身の回り品	飲食料品	家具	家庭用 電気機械器具	家庭用品	その他の商品	食堂・喫茶	合計
販売額(万円)	70,518	41,404	1,004,658	1,413	5,080	21,580	145,465	267	1,290,385
前年同月比(%)	▲ 11.5	▲ 11.1	6.0	4.0	▲ 23.4	▲ 73.4	23.1	▲ 50.3	0.7

2月の百貨店・スーパー全店（84店）の販売額は、129.0億円で前年同月比+0.7%と2カ月連続で増加した。「飲食料品」が前年同月比+6.0%となり、内食や季節商品が好調なスーパーの飲食料品の伸びが全体を押し上げた。一方、「衣料品」は同▲11.5%、「身の回り品」は同▲11.1%と低調だった。

●コンビニエンスストア販売額

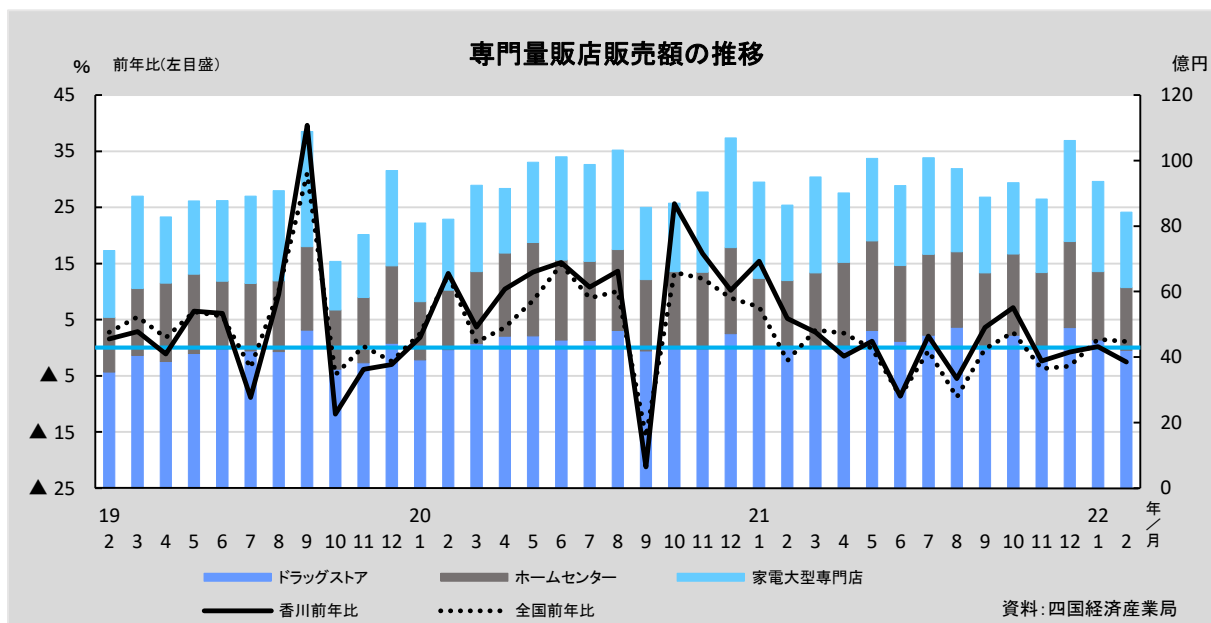
3カ月ぶり減少 ↓



2月のコンビニエンスストア全店（409店）の販売額は54.0億円で、前年同月比▲0.3%となった。冷凍食品やアルコール飲料の動きは良かったが、弁当や菓子、ソフトドリンクなどが低調で、3カ月ぶりの減少となった。

●専門量販店販売額

2カ月ぶり減少

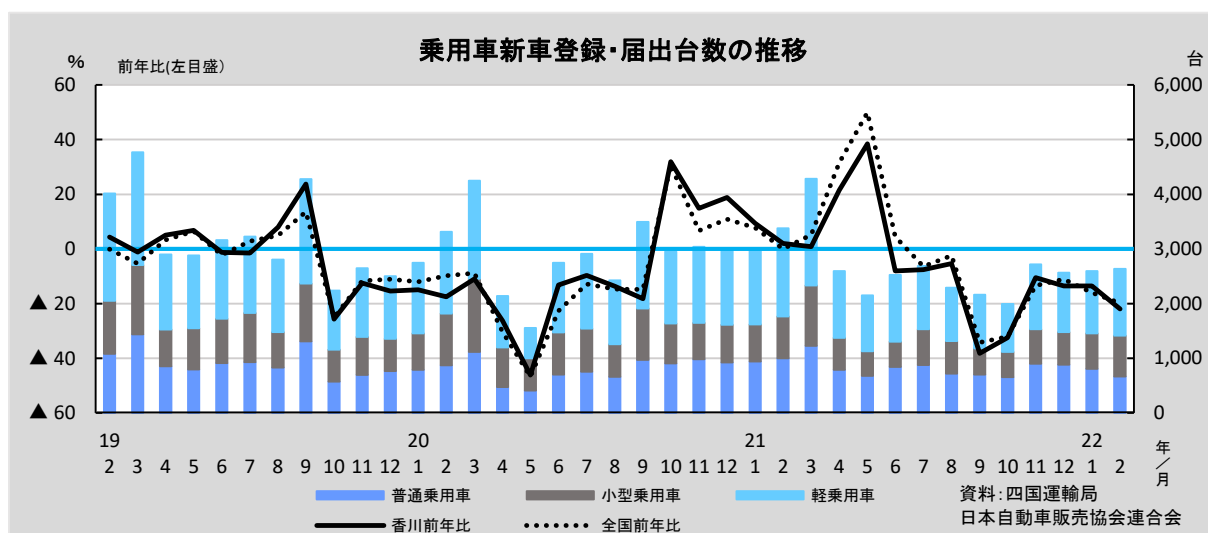


2月の専門量販店全店（208店）の販売額は84.2億円で、前年同月比▲2.6%と2カ月ぶりに減少した。

業態別にみると、パソコンや空気清浄機が低調で、**家電大型専門店**（29店）の販売額は23.0億円で前年同月比横ばいとなった。**ドラッグストア**（133店）は、まん延防止等重点措置適用により入店客数が減少し、販売額は42.1億円で同▲3.2%となった。**ホームセンター**（46店）は、DIY用具・素材や園芸が振るわず、販売額は19.1億円で同▲4.2%となった。

●乗用車新車販売台数

9カ月連続減少



2月の乗用車（普通・小型・軽）新車販売台数は2,634台で、半導体不足や新型コロナウイルス感染拡大による減産の影響が続き、前年同月比▲22.0%と9カ月連続で減少した。

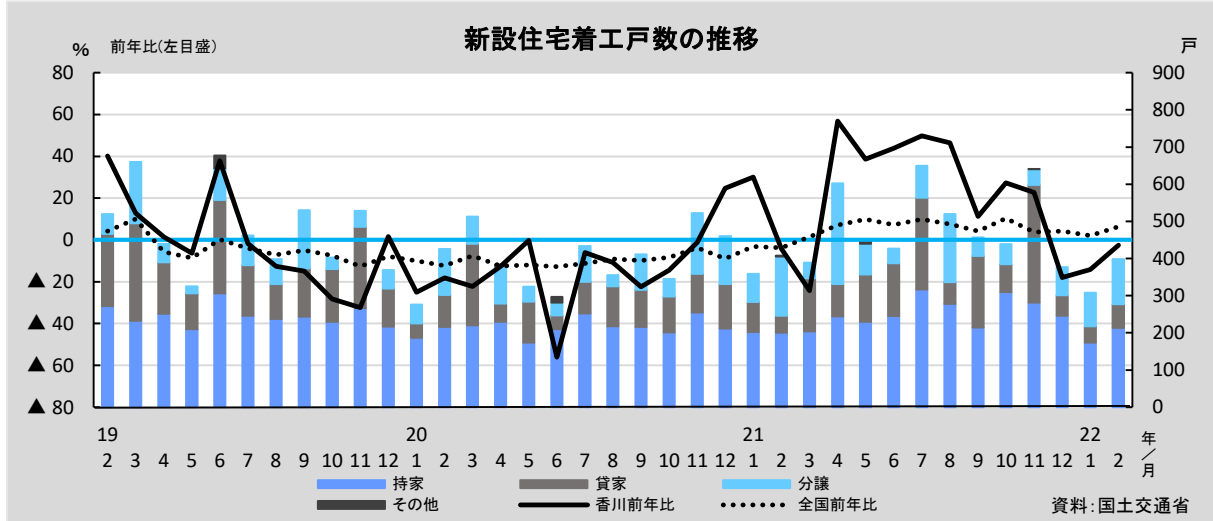
車種別にみると、普通乗用車で前年同月比▲33.3%、小型乗用車で同▲2.0%、軽乗用車で同▲24.5%となった。

住宅投資

持ち直しの動きが一服している

●新設住宅着工

3 カ月連続減少 ↓



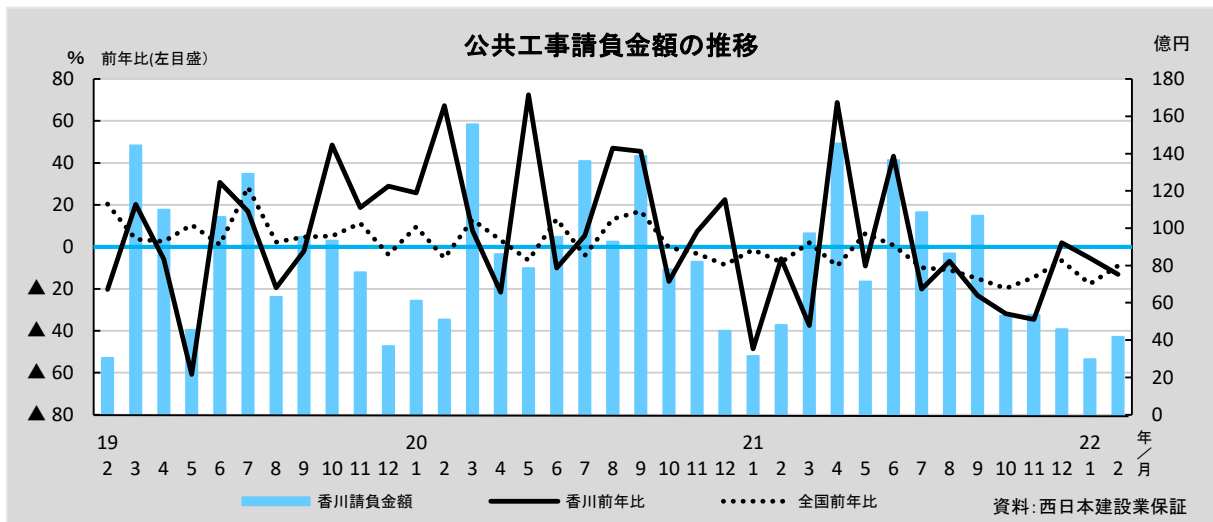
2月の新設住宅着工戸数は398戸で、前年同月比▲2.5%と、3カ月連続で減少した。利用関係別にみると、**持家**で前年同月比+6.5%、**貸家**で同+39.1%、**分譲住宅**で同▲23.9%となった。

公共投資

減少している

●公共工事請負金額

2 カ月連続減少 ↓



2月の公共工事請負金額は41.8億円で、前年同月比▲13.2%と2カ月連続で減少した。発注者別にみると、**国・独立行政法人等**で前年同月比▲99.0%、**県**で同▲16.1%、**市町**で同+2.7%となった。

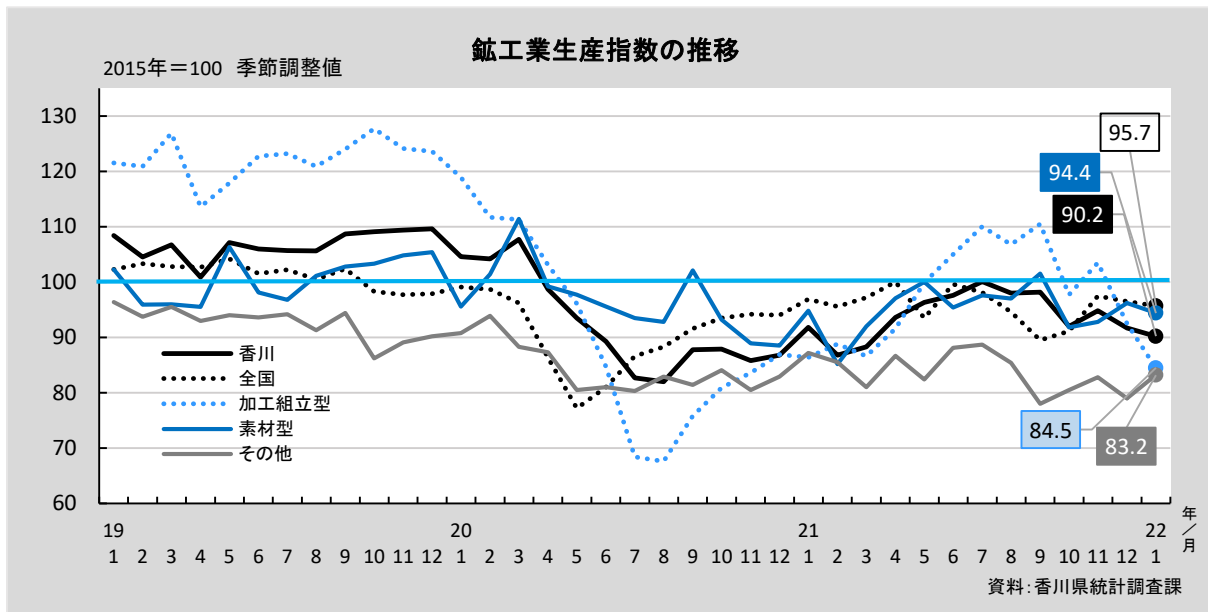
2021.4月～2022.2月の累計では前年同期比3.6%減少している。

生産活動

持ち直しの動きが一服している

● 鉱工業生産指数

2 カ月連続低下 ↓



1月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は90.2（前月91.7）となり、2カ月連続で低下した。

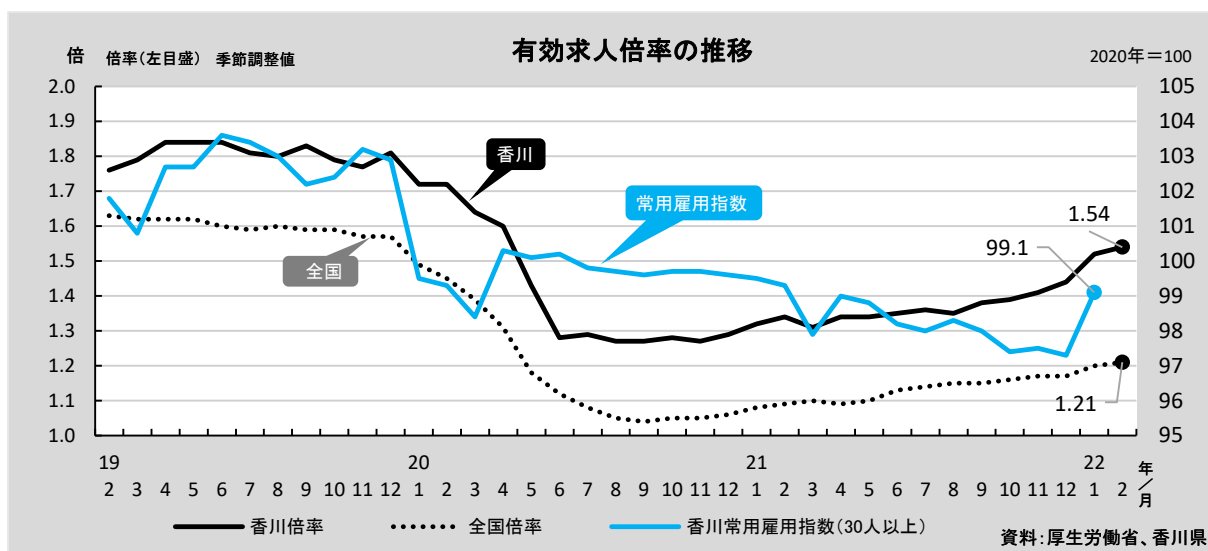
業種別では、加工組立型の電気機械工業（開閉制御装置、半導体集積回路など）は前月比▲11.6%、素材型の化学・石油石炭製品工業（医薬品など）は同▲11.7%と低下した。一方、素材型の非鉄金属工業（電気金など）は同+13.4%と上昇した。

雇用情勢

緩やかに持ち直している

● 有効求人倍率

6 カ月連続上昇 ↑



2月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.54倍（全国5位）と前月より0.02ポイント上昇した。

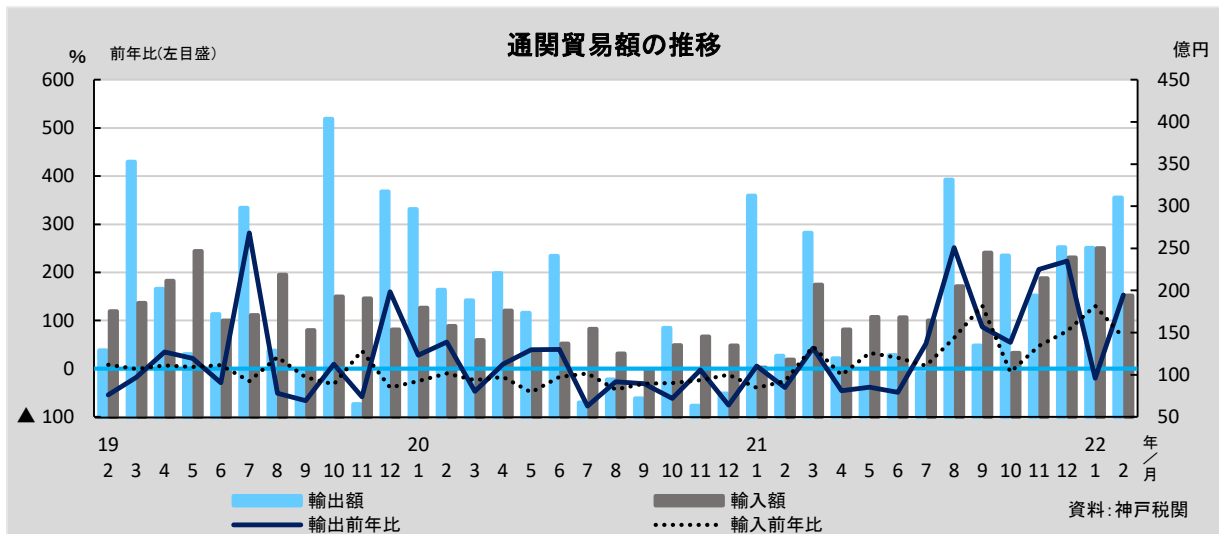
新規求人（原数値：前年同月比）は、電気・ガス・熱供給・水道業、建設業、製造業、卸売業・小売業等で増加し、全体で+13.6%と11カ月連続で増加した。

1月の常用雇用指数（事業所規模30人以上）は、99.1となり、前年同月比は30カ月連続で低下した。

職業別常用有効求人倍率	倍
専門・技術的職業	2.34
事務的職業	0.68
販売の職業	2.46
サービスの職業	3.30
生産工程の職業	2.62
輸送・機械運転の職業	2.43
建設・採掘の職業	7.59
運搬・清掃・包装等の職業	1.14

貿易

輸出、輸入ともに増加している



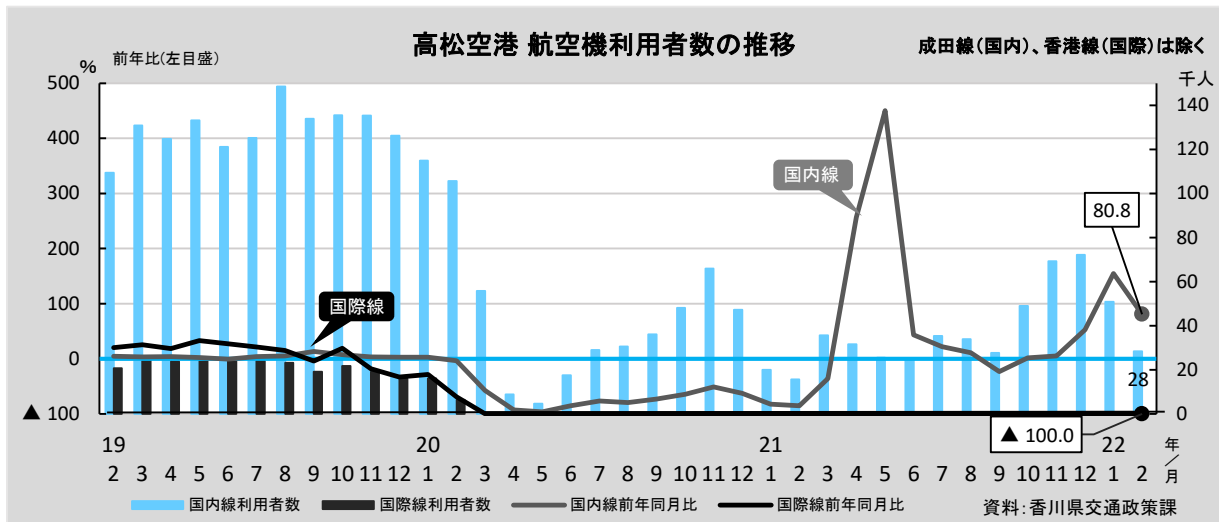
2月の輸出額は前年同月比+153.0%の310.2億円、輸入額は同+64.7%の193.9億円となり、差し引き116.3億円の出超となっている。

輸出は、タンカー輸出額が前年同月比640倍の96億円となった。輸入は、石炭輸入額が同+79.2%の99億円となった。

交通

国内線は5カ月連続増加、国際線は24カ月連続全面運休

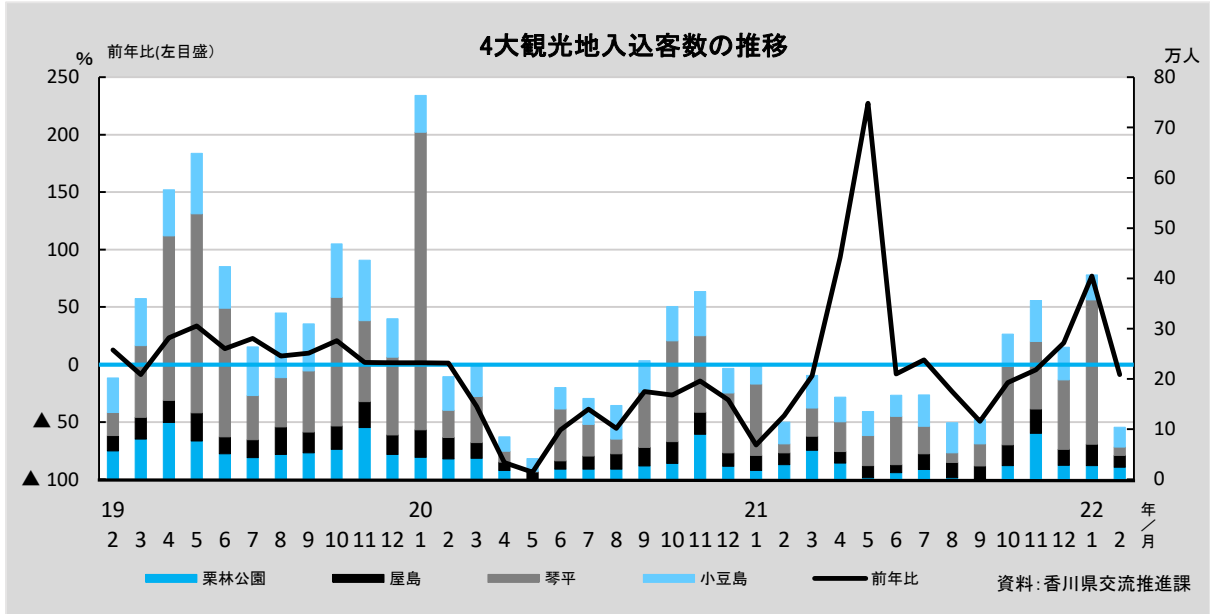
●高松空港旅客輸送実績



2月の航空機利用者数は、国内線(羽田・那覇線)が28,343人(前年同月比+80.8%)となり、5カ月連続で増加した。羽田線は27,199人(前年同月比+73.5%)、那覇線は1,144人(前年同月0)となった。前々年の2020年同月比は▲73.2%となった。

国際線(ソウル・上海・台北線)は新型コロナウイルスの影響により24カ月連続の全面運休となった。

●主要観光地入込客数

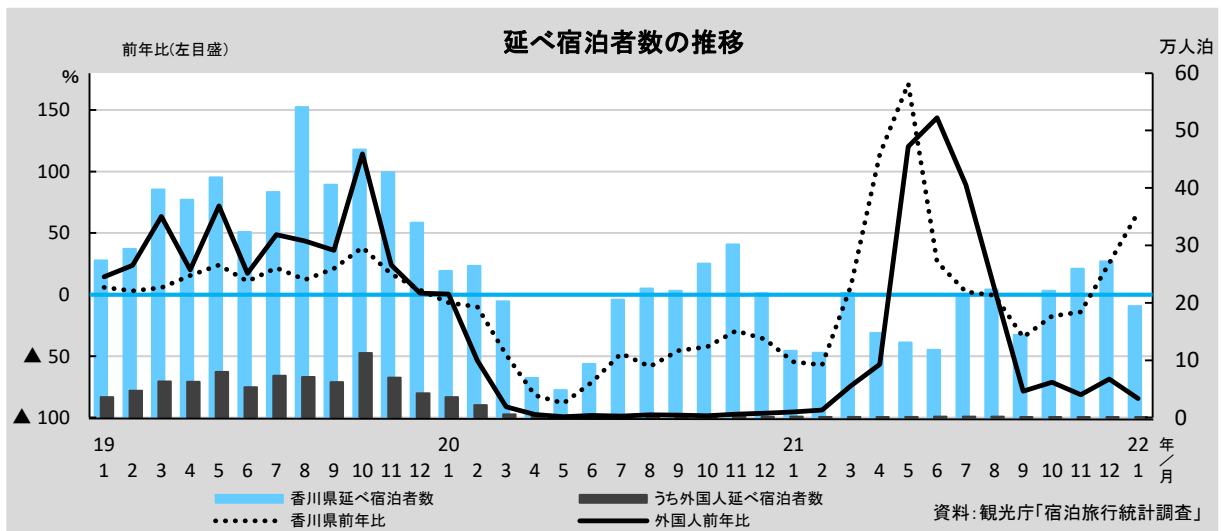


観光地入込客数		栗林公園	屋島	琴平	小豆島	合計
2月(人)	前年同月比	24,128 ▲18.0%	23,498 ▲0.3%	17,000 ▲5.6%	39,348 ▲8.2%	103,974 ▲8.7%
1~2月累計(人)		51,396 8.5%	66,216 24.6%	304,000 90.0%	89,219 7.3%	510,831 48.6%

2月の主要観光地の入込客数は、前年同月比▲8.7%と3カ月ぶりに減少した。1月21日からのコロナ感染再拡大によるまん延防止等重点措置が継続し、4カ所全てがマイナスとなった。

1~2月の累計では前年比+48.6%となった。

●延べ宿泊者数



1月の延べ宿泊者数は194,160人で、前年同月比+67.0%と2カ月連続で増加した。前々年同月比では▲24.0%となった。

うち、外国人延べ宿泊者数は250人となり、前年同月比▲84.6%と5カ月連続で減少した。前々年同月比では▲99.3%となった。